

令和6年度(令和5年度実施事業分)主要事業評価シート					No.	14-8
PDCA	主要事業名	墓地施設快適化推進事業	部課名	市民経済部環境課	担当 内線	高橋 21-4001
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 2 - 2 - 3 単位施策： 生活環境 全体事業期間： 令和 5 年度 ～ 5 年度 全体事業費等： 6,721 千円 会計 一般会計 歳出科目： 04.01.03.20.50					目標項目（予算計上時に作成） 予算見積書で活用
	事業概要等	「墓地は迷惑施設である」というイメージを払拭し、利用者が安全、快適に 事業概要： 利用でき、かつ故人をしのぶ場所としてふさわしい場所となるよう、各種設 備の整備や修繕を行う。 事業目的： 迷惑施設のイメージを脱却し、故人をしのぶ場としてふさわしい墓地施設等を整備す ることにより、市民が安心して集うことができる墓地空間を創出する。 事業内容： 墓参者が安心、快適に墓地を利用することができるよう、施設整備を実施する。 令和5年度は北谷墓地の駐車場整備、北部・北谷墓地の区画再整備を行う。 問題点・ 近年のライフスタイルの変化や少子高齢化などによる無縁化や墓じまいの増 課題等： 加、高齢者や障がい者の利用などに配慮した整備を行う必要がある。				
	予算額	主要事業とする理由				
	6,721 千円	令和2年度に策定した「半田市墓地管理計画」により、今後の市営墓地の整備及び維持 管理の基本方針が決定した。また、計画では管理料を徴収する方向性も示されており、 墓地施設の更なる利便性の向上と安全性の確保を図る必要があるため。				
	財源内訳	得られる成果				
	市費 6,721 千円	新たに駐車場を整備することにより、お盆など混雑する時期のお墓参りや、西側区画使 用者の墓参環境が向上する。また、返還済み区画を再整備して使用者を募集すること で、区画の有効利用が図られる。				
	国費 0 千円	目標値や目指すべき状態				
	県費 0 千円					
	その他 0 千円	墓参者がより安心、快適に市営墓地を利用できるようになる。				
	D 実績 得られた成果と	決算額	得られた成果			
6,452 千円		新たな駐車場の整備により、お盆などの混雑する時期のお墓参りや、西側区画使用者の 利便性が向上した。また、返還済み区画を再整備して使用者を募集したことにより、区 画の有効利用を図ることができた。				
		成果指標				
C 課題の整理	事業の評価・課題	B 北谷墓地において、敷地西エリアに駐車場を新設したことで、お盆や年末年始、彼岸な どの墓参者で混雑する時期や、主に西側区画を使用している墓参者の利便性を向上させ ることができた。また、北部墓地及び北谷墓地において、返還済み区画を再整備して使 用者を募集したことにより、区画の有効利用と、新たな墓地需要に応えることができ た。令和6年度からの墓地管理料徴収に伴い、墓地使用者からの理解を得られるよう、 継続して施設整備を行っていく必要がある。				
	今後の事業の方向性	拡充推進 「半田市墓地管理計画」に基づき、6つの市営墓地の特性に応じた整備を行っていく。 また、近年、後の世代への承継を必要としない新しいお墓の在り方が求められているた め、市で管理を行う合祀型の墳墓（合葬墓）を整備するなど、多様な市民ニーズに応え ていく。				
A 課題の解決方向性に向けた	観点別評価	必要性	有効性	効率性		
	①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 中程度	⑦コスト削減 減余地 ある	⑧受益者負担適正化余地 ある	※対象・手段の変更	
	②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ある	⑥類似事業の有無 ない			
	③休廃止の影響 大きい					